

# 2022年度 地球をまもる子どもたち

板橋区立緑小学校◎1年生 60人◎6月21・22日

## そっとのぞいて見てみよう ～校庭の生きもの探し～

### SOE NEWS

No.185

2022年

7月



### センスオブアース 市民による自然共生 パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動  
環境大臣表彰受賞団体



**校庭にこんなにトンボ  
が飛んでいる学校がほ  
かにあるだろうか!!**

『トンボはどうして毎日正門の  
ところに来ているのだろう?』

『木の上でトカゲが走って  
いた。食べ物が見つかったのだ  
らうか?』 『カナヘビが食べ物



が取りやすいように石にのって、目をこ  
らしてキョロキョロしていた。』

**🐞 いろいろな生き物を見つけた**  
カマキリ・クモ・アリ・ダンゴムシ・  
カナヘビ・ムカデ・チョウ・ミミズ・  
トンボ・ニジユウヤホシテントウ・生まれたての  
メダカ・ヤゴ・クロコガネ・小さなカエル



クロコガネのようだ

### 👤 自分たちでできること

- ①生きものたちを守りたい(多数)
- ②虫を元気にしたい
- ③テントウムシを守りたい
- ④アリの住んでいる場所を住みやすくしたい



生きもの発見カードの赤いシール

区内でも豊かな緑地帯に囲まれた緑小。さらに今春、ビオトープ

が完成。小さなメダカがたくさん生まれ、絶滅危惧種の水草「アサザ」を保全、トンボも卵を産みやすくなりました。正門そばの池とともに、水辺の生きものが豊かになって、掲示した空間地形(一番上の掲示写真)の中にトンボがこんなに貼られました。生きものがなぜそこにいたかを考え、4つの理由(たべものがあるから? 雨風をふせげるから? 敵から身をまもれるから? 体を休めるところだから?)をヒントに自分の

意見を持てたのが素晴らしいです。

4月に完成したばかりの緑小ビオトープ



体育館のうらは生きものの隠れ家?



ビオトープの葉っぱの裏にヤゴの抜け殻を見つけた

# 「大豆ってすごいぞ～」大豆を栽培しよう

板橋区立高島第一中学校◎5組12人  
6月16日



畑はいくつもある  
畔上先生を先頭に土づくりも完璧  
植え付け完了



個人の発芽種を  
ポットに植えて観察する

生徒の気づき「種の形は卵型、色は黄土色」「水に浸し、大豆のはつがをじっくり見た。出てきた芽は真ん中が緑、大豆に近いところは赤さが目立った」「黒くなっているところがへそだと初めて知りました」

昨年の大豆栽培成功に続き、今年も挑戦、気象の変調の中、SOEで提供した苗は少なかったけど、観察植え付けや自分用のポットにも発芽大豆を植えることができました。昨年ではできなかったみそづくり、今秋はできそうです。

担任 畔上陽介先生より「大豆のスケッチや畑作業など喜んで取り組んでいた。クイズに取り組むなど興味関心は高まっていた。自分用のポットができたことで、より命を育てることへ関心が高まっている。」



大豆の発芽をじっと見る



「花ちゃんともめっこ」の紙芝居映像に集中



大豆に強い関心と意欲を持つ4年生

板橋区立緑小学校◎4年生1・2組62人  
5月31日・6月2日

緑小学校4年生は大豆について、強い関心をもって話を聞いたり、考えたりしました。活発な反応で、大豆の姿を変えた食品・栄養・歴史・フードマイレージも学び、種の観察・グループ鉢植えへ。苗は直接畑へ植えました。

子どもたちの気づき 🌱大豆ミートは大豆で作られていたことに驚きました 🌱大豆の根はこんなに曲がるんだ

😊大豆にへそがある 🌱油揚げは大豆からできていることがすごい 🌱大豆ってとても大事な食べ物なんだ

😊大豆はたくさんの姿に変身するのがおどろき 🌱大豆は枝豆から大豆に変わる 🌱みそは大豆で作られていることを知らなかった

😊大豆は外国から買っていた(94%)ことが驚き 🌱発芽した色一エメラルドグリーン、元が赤

🌱大豆は外国から買っていた(94%)ことが驚き 🌱発芽した色一エメラルドグリーン、元が赤



# 体と地球にやさしいワタを育てよう

## 板橋区立はすのみ児童館 親子20組◎5月19日

大豆の苗の予定が天候不順で、今人気の綿の栽培へ変更。父親の親子、母親の親子が混じり合い、楽しみました。スムーズに進行でき、児童館の日常の運営もよい結果を生んでいました。全員無事、植え付け後、名前を付けて並べ水やりしました。



映像紙芝居楽しみました



植えた鉢を並べる  
左から、古田館長・金城副館長

**保護者の声** □楽しくお話や体験ができた。◎こどもと綿の成長を楽しみたい。☆とても勉強になった。種入りの綿を初めて見た。☆実際にワタに触った。□自分の着ている洋服の原材料を知ることができた。☆地球の環境を大切にしていくことを学ぶ良い機会。◎貴重な体験。□紙芝居面白かった。子どもでも環境のためにできることがあれば教えていただけると嬉しいです。

◎日本で綿の生産がゼロ、驚きです。国産で取り組みがすすむといいと思う。

## 板橋区立もみじ保育園◎5歳児19人◎5月24日



映像紙芝居楽しみました

●自分の洋服のタグを見る～そこに書かれている綿 100など～みんな真剣に自分のタグを見たり、先生にも見ていただいたりしました。100%がとても多いので保護者の意識に感心しました。●綿の成長と綿が種に付いているわけを考えて、みんな、「種のおふとん」とあてました。●綿くりき体験—昨年収穫した種付き



綿を機械で分離。《紙芝居「フワフワちゃんとコロコロちゃんの歌」の感想》□ワンピースを作ったなんてすごい □綿からこんなすごいものが作れるなんて ◎綿の仲間がこんなにいるんだね ☆綿の発芽した種をポットに植え水やりをする 《ふりかえり》楽しかった。綿に触って気持ちよかった。種を取るのが楽しかった。面白かった。

## 私立ほっぺるランド成増保育園◎5歳児11人◎5月23日



昨年も取り組んできた保育園です。ワタに触って、ワタとポリエステルの違いを当てる活動では、半分以上がワタをあてました。ワタは「フワフワして気持ちよかった。」と、鋭い感性で感想が出ました。こどもたち「綿を植えるのが楽しかった。」



映像紙芝居楽しみました

先生方が工夫をして、日照の確保のために時刻に応じてプランターを動かしていました。

# 土の小人

# フーフフ・モークモク

# たい肥(栄養のある土)づくり～

板橋区立上板橋小学校

あいキッズ

1～2年生と高学年希望者42人

6月7日



4カ所に分けた土の入れ物—①古土 ②腐葉土  
③米ぬか④野菜くず。そこを、みんなそれぞれ牛乳パックをもって自分で入れて回ります。そして2周したら、洗濯ばさみでふたをして、上下に振って土づくりをします。

なんの歌歌う?～「ドラえもん」「さざえさん」

「シャカシャカタイム」では、アニメの歌に合わせながら、みんな楽しんで、作り上げた土の牛乳パックを上下に振りました。一番盛り上がった歌が、最後の、「上板橋小学校の校歌」でした!! 校歌が大好きな子どもたち、毎日、音楽をかけて、みんなでシャカシャカ、楽しく振っているそうです。水分が足りないようなら、水を入れて適度に湿らせてから振ってくださいね。



## 板橋区私立第二たつのこ保育園

5歳児17人

5月27日

紙芝居「土の小人 フーフフ・モークモク」を観てから、土づくりです。

野菜はどこへ行くの?～

「土の中に消える～」

「消えない～」「野菜は土になる～」「微生物になる～」さて、すごい予測をする子どもたち。答えは2週間後、中の土がどんな色になり、内容はどうなっているか、はじめとくらべてみましょう。



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp